

特集① トラスト地とその周辺の自然環境

特集①にあたって

菊一 敦子

(トトロのふるさと財団 調査委員会)

キーワード：菌類；植生；鳥類

1991年にトトロの森1号地が誕生してから約20年、2009年12月現在トトロのふるさと財団はナショナルトラストによって11ヶ所(古民家も含む)を取得している(本報告書p18の地図参照)(2010年1月には11号地を取得したが、本報告書では扱っていない)。

トトロの森1号地については取得した1991年と1992年、1999年～2000年にかけて2度の植生調査が行われている。2号地～4号地は2000年～2002年にかけて、5号地は2004年に、6号地は2003年～2004年にかけて植生調査が行われ、調査結果からそれぞれのトラスト地の管理方針が立てられ、現在に至る(トトロのふるさと財団 2003; 2005)。その後の植生調査は行われていなかった。2009年度は取得後の樹木の成長による草本類の変化を把握し、今後の保全管理計画に反映するために植生・菌類調査を行い、あわせて鳥類調査も行った。

また、2008年から2009年に取得された7号地～10号地については今後の管理方針を提言することを目的に、植生・菌類・鳥類調査を行った。

1号地～6号地までは現在の調査委員会のメンバーとしてははじめて行った調査となった。トラスト後、年数を経過した保全の状況を確認するために行っておきたかった調査だった。本特集はその結果をまとめたものである。堀井と大塚は鳥類相について、深澤は植生と菌類相についてそれぞれの調査の結果をまとめ、トラスト後の変化を紹介する。

引用文献

- トトロのふるさと財団 (2003) 自然環境調査報告書第2集. トトロのふるさと財団調査委員会
トトロのふるさと財団 (2005) 自然環境調査報告書第4集. トトロのふるさと財団調査委員会